

産地：養父郡氷の山 [4 exs., 4-V11-1965, K. Tsuji leg.], 美方郡扇ノ山 [辻, 1963., 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975],

12. *Aporotritoma laetabilis* (Lewis, 1887) セグロチビオオキノコムシ

Lewis氏により "Ikenchaya in Yamato" (大和一軒茶屋)産の1頭(拘網の偶然の一振り)で採集, 22-V1-1881)でTriplax属で記載された(1887)。中条博士はTritoma属(1936), Pseudotritoma属の種として扱っておられる(1963)。最近再び中根博士はAporotritoma属に含めた方がよいとの考えを述べておられる(1976)。分布は本州, 四国, 九州となっているが比較的少い種のようにであり兵庫県下でも辻氏の音水での記録以外筆者は坂の谷で得ている。

産地：宍粟郡音水 [1 ex., 22-V-1965, K. Tsuji leg.], 養父郡坂の谷 (2 exs., 22-V11-1979),

(Augst. 1982)

キバネツノトンボ物語

松 本 健 嗣

キバネツノトンボ (*Ascalaphus ramburi* MacLachlan) は我国産扇翅亜目唯一の美麗種であり、且つ陽性で複雑活発な飛翔習性から蝶以外の昆虫では最も優美可憐なものと云ってもよからう。風薫る5月、輝かしい陽光の下、低灌木草原上を低く徘徊し時には翅を水平に展開したまま斜面上を低く軽快に滑翔し、又人の背丈程の高さを保って勢いよく一直線に飛んでゆく。特に無風の日にはギフチョウのようにヒラヒラと優しく飛ぶ。だがマツの花に群集するヒラタハナムグリ等に近づくと果敢に襲撃し、被捕食者が逃げると執拗に追いかけてゆく。

近畿地方で今迄に筆者が野外採集で若しくは標本により知った産地は次の4ヶ所のみである。

滋賀県八日市市布施町布施山 (1974 筆者)

大阪府寝屋川市香里園 (1962 宮崎俊行・晴久)

同豊能郡剣尾山々麓 (1960 自然科学博物館)

兵庫県小野市青野ヶ原 (1965-1975 筆者)

他1964年頃迄阪急・能勢電車が配布していた沿線採集案内(パンフレット)には川西市一ノ鳥居が産地として紹介されていた。またASIATIC INSECTS (1962)には近畿でた唯一つ京都

(竹内吉蔵)が産地として記されている。以上の産地は台地、丘陵、低山域の小盆地であり、図鑑書物に記されている中国地方、東京、信越地方の産地、更には欧亜大陸産の同属各種の分布から連想してキバネツノトンボが見られる地方は内陸高原的な広々とした開放的な地形であり、国内分布を蝶に例にとると、棲見環境からしてもキマダラルリツバメ、ヒョウモンモドキ、ゴマシジミ、ミヤマシジミその他大陸との関連の強いオープンランドの蝶とどことなく相似たものが感じられる。だが本種の場合は国外からは未知のようで、満州、シベリア、朝鮮半島には別種チョウセンキバネツノトンボ(*A. sibiricus* EVERSMANN)が産すると云う。青野ヶ原、八日市、東京井ノ頭の場合は附近に広い池(もとは湿地湧水地)があり、表土の湿り気も棲息には重要な条件なのかもしれない。本文のタイトルからすれば当然生活史にも言及せねばならないのだが筆者遺憾ながらよく調べていない。以前多産した青野ヶ原で1971年頃自衛隊のホーク基地建設が決まり、以後同所への出入がチェックされるようになり調査が思いに任せなかったせいもあるが、草葉上で翅を開き震わせている♀に♂が同じ姿勢で hovering しつゝ、近づくと場面を一度見たが、他に気をとられていて十分観察しなかったのは今思うと誠に不覚であった。なわばり行動(territorial behaviour)は観察してない。

以上の通り目下貧弱な資料しか持たない筆者が本属本種について論ずるとはまさに井蛙の論又はヨシの髄から天上を覗く観がある。

故に話しはこれ位にして置くが当面の筆者の希望は地元兵庫県及び近隣での本種の現存の地を知ることであり、又四国が分布域に含まれていないがこれと関連して近畿南部の産地を確かめ度い。

〈参 考 文 献〉

1. 石井 悌 武蔵野昆虫記(1940 三省堂)
2. A. D. IMMS A GENERAL TEXTBOOK OF ENTOMOLOGY(1925)
3. 岡崎常太郎 昆虫700種(1936 松邑三松堂)
4. 平山修次郎 原色千種昆虫図譜(1933 三省堂)
5. 竹内吉蔵 原色日本昆虫図鑑(1955 保育社)
6. 伊藤修四郎ほか 同上新版(1977 保育社)
7. 朝比奈正二郎ほか 原色昆虫大図鑑Ⅲ(1965 北隆館)

(小林桂助氏よりの私信で同氏が1982年5月15日加東郡社町で数頭採集をされたとのこと—高橋)